

社会保険労務士 丸山事務所 通信

本事務所通信は事務所の顧客さま、名刺交換をさせていただいた方、FAX番号を教えた会社へお送りしております。不要の方はお手数ですがメール、FAX、電話等でその旨をご連絡下さいますようお願い申し上げます。

ポカミス を 50% 削減する方策

いくら注意していても、ついつい起きるポカミス。些細なことのときは大目に見られても、お客様に大きな迷惑を掛けたり、怪我をしたりしては取り返しがつきません。

ヒヤリハット活動

ミスをしたとき、それを隠したがるのは普通の人の感覚です。このミスを、白日のもとに晒すのが、ヒヤリハットと呼ばれる全員参加の活動です。ミスとなってしまうものは勿論、ミスにはならなかったけれども不運が重なったらミスになったと思われることまでを報告する制度です。報告を簡単にするために用紙を工夫したり、書くことにあまり慣れていない人のために口頭での報告を受けたりします。

報告を集めるポイントは2つ

ヒヤリハット活動で報告を集めるときのポイントは次の2つです。

- 報告者の責任を追求しない
- 報告者の利益になる

私自身は前職の化学会社本社の環境安全部署在職中に事故防止の方策としてヒヤリハットを体験しました。ヒヤリハット活動は既に国内の工場、グループ会社で定着し成果を収めていました。それではとこの活動を中国のグループ会社に持ち込みました。ところがです。1年たっても、2年たっても一向に報告が集まりません。中国のその地方では、事故を起こしたりミスを起こしたりして会社に損害を与えると損害賠償を要求されることが一般的だったのです。会社は、「報告者の責任は追及しない」と明言していたのですが、社員は半信半疑だったようです。

要は信頼関係

この状態を変えた切っ掛けは、次の報告でした。

「梯子で屋上に行くとき落ちそうになった」

早速、管理者が確認すると確かに梯子の構造が悪く、危険な状態です。そこで、改善方法を現場の作業者に相談させ、その結果をもとにして改善工事を実施しました。この件を契機にしてヒヤリハットの報告件数は一気に増加しました。

共通のポカミスを知ること

ヒヤリハットの最大の効果は、ミス情報が共有されることです。自分だけが失敗していたと思っていたのと、実は他の人も同じ思いであったのとは全然違います。次回、同じ場面に遭遇したときの注意力に差が出ます。これがポカミスを防ぎます。また、ミス情報が集められることで会社として必要な対策を施すこともできます。

ある自動車部品の組み立て会社では不良品の発生に困っていました。そこで、どんな些細な異常までを報告させたところ、なんと年間で1,500件もの報告が集まりました。この報告を職場に公開するとともに丹念に対策を施すことにより、不良品の発生を従来の50%以下に抑えることに成功しました。

ミスがなくなることは会社の利益に直結します。この利益の一部を社員に還元できれば、これこそヒヤリハット報告者に対する本当の意味の「利益」になります。ここまで来ると社員の姿勢も含めて会社の体質が劇的に改善されています。

今回は、私自身の体験を含めて、ポカミス削減するためのヒヤリハット活動を紹介しました。

ハローワーク求人登録代行

安心・確実に求人登録の手続きをします。
900円/件(税抜き)から
(平成22年3月末まで)

社会保険労務士 丸山事務所

〒330-0852

埼玉県さいたま市大宮区大成町 1-515

所長 : 丸山 峰雄

Tel・Fax : 048-654-8103

e-Mail : info@office-maruyama.jp

URL : http://www.office-maruyama.jp